



✓ 国立大学法人 鳴門教育大学

1 現在のセミナー形式となった経緯

急速な高齢化に伴う退職後の人生の長期化、また、教職員を取り巻く環境の変化の中で、文部科学省共済組合の組合員に対する生涯生活設計等の支援の重要性が増しています。

このため、近い将来退職が予定されている教職員を対象に、退職後のライフプランに必要な基本的知識を習得させ、希望ある生活設計の確立に資するとともに、勤務に対する意欲の向上と職務の能率の増進を図ることを目的としました。

また、徳島県下では、徳島大学を中心にして退職直前のセミナーが開催されており、本学が開催するにあたり、40歳以降の世代に対して生活設計型セミナーを開催することとしました。

2 セミナーの実施内容 (プログラム等)

生活設計型セミナーを実施するにあたり、ノウハウがないことから、教職員生涯福祉財団から提案があったプログラムで実施しました。

開催日時：令和元年8月2日(金) 9:30～16:00

会場：鳴門教育大学

総合学生支援棟 F 会議室(3F)

対象者：徳島県内の国立大学法人等に所属する職員のうち、40歳から55歳までの者

参加者数：32人

日 程：

9:10～9:30 受付

9:30～9:40 開会、主催者挨拶

9:40～10:10 自己紹介タイム

【実習】

生涯生活設計づくりに向けて

10:10～10:50 【実習】健康プラン

10:50～11:00 休憩

11:00～11:40 【実習】生きがいのプラン①

11:40～12:40 昼食

12:40～13:20 【実習】生きがいのプラン②

13:20～13:30 休憩

13:30～15:10 【講義】経済生活のプラン
(公的年金の説明含む)

15:10～15:20 休憩

15:20～15:50 【実習】生涯生活設計のまとめ

15:50～16:00 閉会、アンケート記入・解散



昨今の年金政策や年金2000万円問題の報道もあり、

40歳以降のいわゆる団塊ジュニア世代の将来が不安視されていることから、

現在のライフプランを再確認し、将来に備えて考えていただく機会が必要と思われま

そこで本学では、生涯生活設計セミナーを実施しています。



3 特に入力している点・工夫を凝らした点や特徴

本学は教員養成単科大学であり附属学校を有することから、附属学校に勤務する職員が参加可能となるよう、夏休み期間中に開催することとしました。

また、徳島地区ではあまり開催されていない、40歳以降の職員を対象とする生活設計型を実施することとしました。老後資金が2000万円不足するとのタイムリーな報道もあり、40歳代からの資産形成も考慮してのセミナー開催でした。

4 参加者の反応・アンケート結果

おおむね好評でした。特に仕事ではなく、生涯の話であったこともよかったと思われま

また、家族世帯向けの内容が中心であったことから、独身である者に対する内容としては検討を要するかもしれません。

5 苦労した点・今後の課題

夏休み期間中の開催でありましたが、セミナーが実施できる日と附属学校の行事が重なり、附属学校からの参加者が少なく、部署ごとの参加者に偏りが生じました。また、県下における40歳以降の職員(いわゆる団塊ジュニア世代)が相当数存在するにもかかわらず、参加希望者が思いのほか少ない状況でした。

定年以降のライフプランについて、現時点においては各職員がまだ身近な問題と感じていないか、十分な対応が可能と感じているかと思われま



(国立大学法人鳴門教育大学
総務部総務課労務係長 廣島 哲也)